

Future blueprint

イトーキの未来設計（パーパス）

人的資本経営に効く新たなワークプレイス戦略で、明日の「働く」をデザインする。

日本の「働く」が変わりはじめています。

労働生産人口の減少や少子高齢社会の進展、テレワークやICT技術の進歩など、めまぐるしい環境の変化によって、今後ますます、「働く」の位置づけが変わっていくことが見込まれます。「成果・生産性＝価値」が問われる時代に、どんなワークスタイルが必要になるのか。「オフィス投資は人的資本経営に効く」位置づけが高まる人的資本経営のなか、企業はどんな「人材」を求め、どんな「ワークプレイス」を用意すべきか。今よりさらに多様なワークスタイルを実現するワークプレイス戦略が必要になることでしょう。

そのため、私たちは、より「人」にフォーカスしたビジネスが重要であると捉えています。オフィスは企業側からは生産性向上、エンゲージメント向上に寄与するもの、従業員側からはウェルビーイング、就業をつなぎとめるものへ位置づけを変えて、重要なキーワードになると考えています。

私たちは、顧客の実現したい思いを、空間デザインで具現化し貢献するとともに、オフィスの重要性が首都圏から地方都市へ伝播するなか、エンゲージメント向上に加え、リクルート成果にも寄与しています。なお、私たちは、リニューアルを主なターゲットとすることで高収益化に加え、四半期構成・景気変動影響の吸収を目指しています。

さらに、私たちは労働生産人口の減少に備えて、Office3.0（データビジネス）で顧客の生産性向上に寄与する新たなビジネスモデルの確立に挑戦するとともに、ASEANをはじめとした海外へも注力を開始します。

また、設備機器・パブリック事業を経営改革し、第2の柱として打ち立てていきます。

イトーキの存在意義（パーパス）は、まさに、オフィスの運用を通して、長期的な顧客の生産性の向上に貢献することであると考えています。

ビジネス環境

労働人口

オフィス市場

オフィス投資

今後は労働人口が減少→オフィス市場の縮小が懸念される。一方、「オフィス投資は人的資本経営に効く」ことが立証され、オフィスへの投資は「なくてはならないもの」へと位置づけが高まり単価の上昇も相まって堅調に推移していくと予想。

未来のビジネス環境を見据えたイトーキのアイデア&打ち手

現在

イトーキ第1の柱におけるアイデア&打ち手

イトーキに
どんな優位性が
あるの？

オフィス空間 デザイン力

空間デザインで顧客の実現したいことに貢献する。そのために、空間デザイナー人員を拡充し、180名に。

▶ 主な価値提供領域と
イトーキグループの強み：本編P27

オフィス投資の
具体的効果は？

リクルーティングに 効果

オフィスへの投資により従業員のエンゲージメントが向上し、リクルーティングにも効果を発揮。

▶ 人件費：ファシリティコスト：本編P15

顧客の
どんな課題を
解決できるの？

労働生産性向上へ 寄与

これからの人口減少に備え、Office3.0（データビジネス）を通じて、顧客の生産性向上に貢献。